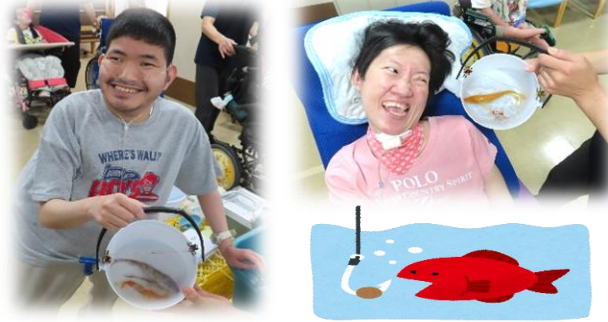


川島釣り堀様のご協力のもと、施設内で初めて釣り体験をしました。

生けすの金魚や錦鯉を釣るだけでなく、釣った魚に実際に触れてみて感触も楽しみ、利用者の方々から「楽しかった」「またやりたい」とお話もあり、笑顔あふれる貴重な体験となりました。(記:清水)



きずな(入所)より

26日はお風呂の日。26日の週になると、お風呂場の出入りに温泉をイメージした暖簾を用意し、これからお風呂に入るということを視覚で分かりやすく伝えられるようにしています。

脱衣所でアロマを焚いて、素敵な香りがする空間を作り、さらに、浴室の壁には季節に合わせた壁掛けを飾り、四季を感じられる工夫をしています。

利用者の皆様の入浴が楽しいものになるよう、今後も工夫していきます。(記:荒井)



ボランティア報告

6月:4名 7月:20名 8月:1名
(利用者個人・地域交流会ボランティア)

※現在、居室内で利用者の方と一緒に活動して下さる方を募集中!!お電話お待ちしております。
TEL:03-5654-7731(代)

実習受け入れ報告

6月:日本福祉大学 1名
7月:都立赤羽北桜高等学校 2名
8月:文京学院大学 2名
東京未来大学 2名

研修報告

外部研修

8月:福祉職員キャリアパス対応生涯研修
(初任者研修)
東京都サービス管理責任者基礎研修
社会福祉士実習指導者講習会

防災訓練報告

7月:水害訓練



もっちりもっちり 秋号



社会福祉法人あいのわ福祉会 竹の塚あかしあの家 発行責任者 三瓶 善衛
〒121-0813 東京都足立区竹の塚7-19-11 TEL:03-5654-7731(代) FAX:03-3859-6655

統括主任より

夏が過ぎて過ごしやすい季節になってきました。今年の夏は、皆様どんな夏でしたか? 7月に熊本で大きな地震がありました。関東でも足立区が震度5を観測した地震でもあり、私は夜中に緊急地震速報で飛び起き、いつ首都直下型地震が来るのか怖くなってしまいました。

竹の塚あかしあの家では定期的に防災訓練を実施し、避難経路や職員の動き、利用者の方の対応を確認していますが、実際に大きな災害が起こった際、訓練の時のように他の職員と協力し、確認しながら冷静な動きが出来るのかと考えました。

非常時だけではなく、普段から避難経路を確認し利用者の方をどう誘導するかイメージしたり、防災グッズや非常食の場所など把握しておくことも大切かと思います。特に24時間施設は夜間も避難の可能性がある為、職員が少ない中での対応が必要な場合もあります。これからも非常時に備え、日頃から防災の意識をもって利用者対応に努めていきたいと思っています。(記:青木恵子)

ノーリフト委員会より

『ノーリフト』とは、ノーリフティングポリシーの略で、抱え上げること(=リフティング)をやめようという意味です。抱えないだけでなく、引きずることもやめて、腕力に頼らない介助をすることを大切にしています。

毎年、新人職員や異動職員は研修を受け、どうすれば力に頼らない介助ができるのかを学んでいます。

写真は、滑りのよい生地を身体の下に敷き込んでベッドの頭の方に上がろうとしているところです。軽い力で引きずることなくスーツと身体が動くので、新人さんが驚くのが楽しい一場面です。(記:青木寿美子)



Follow us

あいのわ福祉会の
情報を発信中!



地域交流会を行いました！！



7月23日、竹の塚あかしあの杜で地域交流イベントが開催され、多くの地域の方々にご来場いただき、賑やかな1日となりました。

毎回好評の工作では、キットパスバルーンや、ペットボトルキャップホルダー作りに沢山のお子様方に参加していただきました。今年初めて企画した車椅子体験では、初めて車椅子に乗った・押したという方が多くおり、デコボコの道や、人混みの中を車椅子で通る大変さを知る良い機会となったのではないかと思います。

また、ふくしまルシェでは、地域包括支援センターのモルック体験、高齢者相談、竹の塚ひまわり園のパン販売、法人内施設からも沢山の施設が出店しイベントを盛り上げてくれました。

今年度のキッチンカーは、『藤之屋のベビークステラ』『エスキモーカフェのジェラート』『にぎりむすびのおにぎり』の3店舗に出店していただき大好評でした。利用者の方々にも呼び込みの役割を担ってもらい、皆でイベントを盛り上げ、それぞれの場所で地域とのつながりを深める1日となりました。

こうしたイベントを通して、障がいのある方もない方も、互いを知り、支え合える地域づくりに繋がっていくことを願っています。

今回のイベントを無事に開催できたのは、ご来場くださった地域の皆様をはじめ、協力してくださった関係者の皆様のお力添えがあったからこそです。

たくさんの方に足を運んでいただき、心より感謝申し上げます。(記:伊藤・合田)